

eラーニング実施科目一覧<2017年定期版>

実施期間:2017年12月下旬~2018年8月下旬

※以下の開始日、終了日は**予定**です。変更になる場合がありますので、ご了承ください。

2018/2/20現在

分類	科目コード	学年	科目	講師	単位	開始予定日	終了予定日	東京	東海	近畿	九州	
											通常	遠距離通学者
会計	104	J1	【必修】 決算実務と開示【その1】 ※注1, 注2	乾 隆一	3	平成29年12月26日(火)	平成30年7月31日(火)	○	-	-	-	○
会計	104	J1	決算実務と開示【その2】 ※注1	乾 隆一	3		平成30年5月31日(木)	○	-	-	-	○
会計	104	J1	決算実務と開示【その3】 ※注1	乾 隆一	3			○	-	-	-	○
会計	602	J2	企業再編の実務	波多野伸治	3			○	○	-	-	○
経営	103	J2	経営管理と内部統制	隅谷崇広	3			○	-	○	-	○
会計	411	J3	IFRS概念フレームワークに基づく会計処理	増山俊和	3			○	○	○	○	○
監査	309	J1	連結財務諸表(範囲・会計処理・税効果)及び組織再編【その1】	北村幸子	3	平成30年1月16日(火)	平成30年5月31日(木)	○	-	○	○	○
監査	309	J1	連結財務諸表(範囲・会計処理・税効果)及び組織再編【その2】	北村幸子	3		○	-	○	○	○	
監査	310	J1	セグメント情報・関連当事者	石塚俊行	3		○	-	○	-	○	
会計	410	J1	【必修】 IFRSの概要及びフレームワークに基づく会計処理の基礎(非金融資産) ※注3	増山俊和	3		○	○	○	○	○	
監査	101	J1	【必修】 監査制度総論	村上和典	3		○	○	○	○	○	
法規・その他	201	J1	【必修】 公認会計士法	高橋周	3		○	○	○	○	○	
法規・その他	301	J1	【必修】 職業倫理	友野敦史	3		○	○	○	○	○	
経営	101	J1	【必修】 経営管理総論	高梨智弘	3		○	○	○	○	○	
経営	201	J1	【必修】 経営分析総論	會田幸雄	3		○	-	○	○	○	
会計	301	J1	会社の設立実務、業務と組織・諸規程	小田純也	3		平成30年2月27日(火)	平成30年5月31日(木)	○	○	○	-
監査	201	J1	監査全般にわたる基本的事項と責任	小川紀久子	3	○		○	○	○	○	
IT	403	J1	【必修】 ITのリスク評価の概論 ※注4	深町克実	3	平成30年7月31日(火)		○	-	○	○	○
税務	101	J1	【必修】 税法総論	須藤一郎	3			○	○	○	○	○
税務	102	J1	【必修】 租税制度総論	朝日良平 那須伸裕	3			○	○	○	○	○
監査	401	J1	国際監査基準 ※注5	甲斐幸子	2			○	○	○	○	○
監査	505	J1	非営利法人会計と監査	大立目克哉 菊地 哲 馬場 充	3	○	○	○	-	○		
監査	506	J1	地方自治体の会計と監査 ※注6	伊澤賢司	2	3月中旬	7月末	○	○	○	○	○
監査	507	J1	独立行政法人の会計と監査 ※注6	富樫高宏	2			○	○	○	○	○
税務	201	J1	法人税法総論	鶴田泰三	3			○	-	○	-	○
IT	402	J2	企業におけるIT環境とITに関する保証業務 ※注7	曾根慶二	3			○	-	○	-	○
IT	405	J2	全般統制 ※注7	佐藤 茂	3			○	-	○	-	○

分類	科目 コード	学年	科 目	講 師	単位	開始予定日	終了予定日	東京	東海	近畿	九州	
											通常	遠距離 通学者
特別講義	106	J3	【必修】公認会計士・監査審査会長講話～公認会計士としての使命(仮題)～ ※注9	廣本敏郎	2	4月上旬	8月末	○	○	○	○	○
会計	601	J1	英文財務諸表	吉岡小巻	3	5月中旬	8月中旬	○	○	○	-	○
監査	206	J1	四半期レビュー	後藤秀洋	3			○	○	○	-	○
監査	207	J1	財務報告に係る内部統制の監査	紙野愛健	3			○	-	○	-	○
監査	305	J1	金融商品【その3】	富岡淳也	3			○	○	○	-	○
監査	504	J1	学校法人会計と監査	原 秀敬	3			○	○	○	-	○
税務	503	J1	地方税法概論	山崎友揮	3			○	-	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その1】 ※注5	濱野香織	2			○	○	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その2】	神田綾香	2			○	○	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その3】	佐藤 優	2			○	○	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その4】	矢内隆一	2			○	○	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その5】	山本有希	2			○	○	○	○	○
会計	402	J2	国際財務報告基準(各論)【その6】	岡田泰治	2			○	○	○	○	○
監査	501	J2	株式上場監査【その1】	佐々田博信	3			○	○	-	-	○
監査	501	J2	株式上場監査【その2】	選任中	3			○	○	-	-	○
監査	503	J2	金融機関の会計と監査(2014年期以前科目名「業種別会計論」) ※注8	岩崎裕男	3			○	○	-	○	○
特別講義	105	J2	企業のガバナンスと監査役	百武直樹	3			○	○	○	○	○
法規・その他	402	J2	商業登記・不動産登記 ※注5	足立啓明	2			○	○	○	○	○
法規・その他	403	J2	民法	岡伸浩	3			○	○	○	○	○
法規・その他	404	J2	不動産評価の方法	杉本茂 牛木啓貴	3			○	○	-	○	○
税務	210	J2	J3	法人税法(組織再編税制)【その1】 ※注10	山田盛人			3	○	-	○	-
税務	210	J2	J3	法人税法(組織再編税制)【その2】 ※注10	山田盛人	3	○	-	○	-	○	
会計	603	J3	倒産の実務(更生・民事再生・破産・特別清算)【その1】 ※注5	戸田厚司	2	8月末	○	○	○	○	○	
会計	603	J3	倒産の実務(更生・民事再生・破産・特別清算)【その2】	戸田厚司	2		○	○	○	○	○	
経営	204	J3	管理会計の実務	園田智昭	3		○	○	○	○	○	
会計	303	J1	貿易実務 ※注5	紙野愛健	2	6月中旬	8月末	○	○	○	○	○
監査	204	J1	監査証拠及び他者の作業の利用	高山大輔	3			○	○	○	○	○
監査	308	J1	純資産の部・包括利益・過年度遡及	上西貴之	3			○	○	○	○	○
監査	502	J1	保証業務 ※注5	松永智行	2			○	○	○	○	○
法規・その他	406	J1	統計的サンプリング【その1】 ※注5	石原佳和	2			○	○	○	○	○
法規・その他	406	J1	統計的サンプリング【その2】	石原佳和	2			○	○	○	○	○
法規・その他	407	J1	ファイナンスの基礎	桑原和典	3			○	○	○	○	○
法規・その他	408	J1	経済学(マクロ経済学)	下井直毅	3			○	○	○	○	○

<受講に当たっての注意事項>

※注1 : 2017年期より新設された科目のため、「**新規科目**」として受講可能です。

※注2 : 2016年期まで実施していた必修科目「会計101金融商品取引法に基づく開示と実務」が統合・再編されたため、2017年期より必修科目が「会計104決算実務と開示【その1】」に変更されています。

※注3 : 2015年期より必修科目が「会計401国際財務報告基準(概論)」⇒「会計410IFRSの概要及びフレームワークに基づく会計処理の基礎(非金融資産)」に変更されています。

※注4 : 2014年期より必修科目が「経営401ITの基礎知識」⇒「経営403ITのリスク評価の概論」に変更されています。

※注5 : 2015年期より講義時間が2時間(2単位)となっており、2014年期以前に受講していた場合には「**新規科目**」として**取り扱われます**。

ただし、2015年期以降に当該講義を受講済の場合は「**重複受講**」となり**単位を取得できません**。

※注6 : 2017年期より講義時間が2時間(2単位)となっており、2016年期以前に受講していた場合には「**新規科目**」として**取り扱われます**。

※注7 : 2014年期よりIT科目(経営402,405)の実施学年がJ1⇒J2に変更されています。講義内容に変更はないため、2013年期以前において既に受講し単位を取得済の場合は、

引き続きJ1の単位に反映されます。よって、2014年期以降に補講として受講しても「**重複受講**」となり**J2の単位を取得できません**。

※注8 : 2015年期より科目名「業種別会計論」⇒「金融機関の会計と監査」に変更されています。講義内容に変更はないため、2014年期以前において既に受講し単位を取得済の場合は、

引き続きJ2の単位に反映されます。よって、2015年期以降に補講として受講しても「**重複受講**」となり**J2の単位を取得できません**。

※注9 : 当該特別講義は「**必修科目**」として新たに追加されています。詳細はウェブサイトを確認してください。(<http://www.jfael.or.jp/ja/information/20180214.php>)

※注10 : 当該特別講義は実施学年の変更(J3⇒J2)に伴い、受講機会確保のため2017年期に限りJ3生の受講を認め、J3単位として付与されます。

2017年期におけるカリキュラム変更についての詳細はウェブサイトを確認してください。(<http://www.jfael.or.jp/ja/information/20171115.php>)